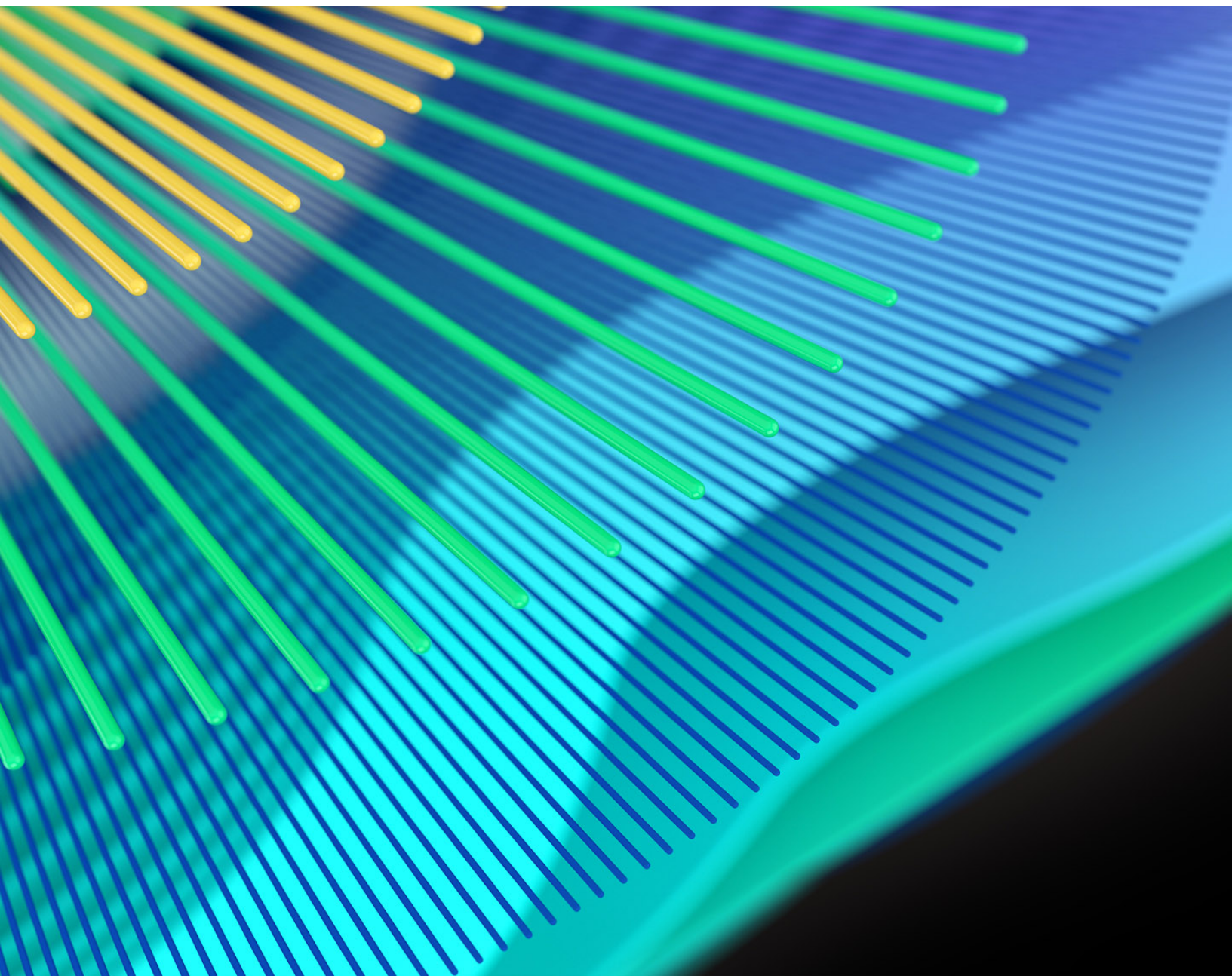


ScholarOne Manuscripts リリースノート

2020 年第 3 四半期リリース



概要

ScholarOne 製品チームはセキュリティ、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスの継続的な改善に積極的に取り組んでいます。以下では、このリリースにおけるプラットフォームとツールの主な改善、不具合の修正と最適化について説明します。

また、デフォルトの構成値に関する情報と各機能の構成手順も示します。新機能の中には、管理者または ScholarOne の担当者が有効にしないと使用できない機能もあります。許可や構成に関するご質問は、発行者チームまたは ScholarOne にお問い合わせください。

ワークフローの変更は影響するすべてのユーザーに伝えてください。

このリリースに記載された事項に関するご質問は、ScholarOne 製品サポート (s1help@clarivate.com) にお問い合わせください。

内容

1. 投稿の統合
2. Submission Prefill: PDF のサポートの追加
3. Submission Prefill: 所属機関のマッチングの更新
4. 異常アクティビティ検出ツールのスコア履歴レポート
5. 注目すべき問題の修正

備考: このリリースには DTD または ISO の変更は含まれません。

2020 年第 3 四半期リリース更新

1. 投稿統合の更新

ScholarOne の投稿統合機能に未投稿のワークフローのサポートが追加されました。著者に変更用に返送された外部投稿（「未投稿」）を、最初に論文を送信した外部システムによって草稿の状態を更新できるようになりました。これまでは外部システムは未投稿の論文を草稿の状態では更新できず、新しい投稿を作成するだけでした。

ユーザー

管理者

必要なアクション

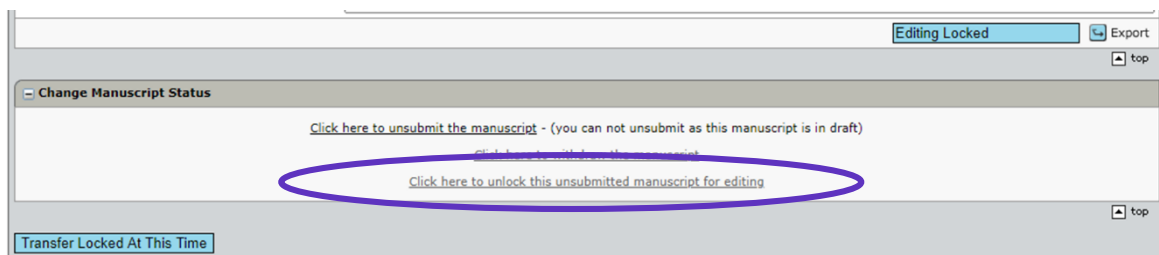
構成が必要です。

詳細と構成

ScholarOne の投稿統合の未投稿機能を使用すると、外部システムが未投稿論文のファイルとメタデータを草稿の状態を更新できます。この構成を行うと、著者に返送された論文は自動的に ScholarOne UI でロックされます。著者も雑誌管理者もこの論文は編集できなくなります。

操作過程としては、著者は外部システムで論文に変更を加え、外部システムが投稿統合を介してその変更を ScholarOne に受け渡すことが想定されます。ScholarOne で変更を行う必要がある場合は、論文を編集用にロック解除し、編集後に[ファイル管理] タブで再びロックすることができます。

Author-Supplied Data	
Manuscript Type:	Original Article
Title:	Demonstration for Show and Tell - OCT xx1 External and No external
Manuscript ID:	Draft (Stack551M587)
Funding Information:	U.S. Department of Health and Human Services > National Institutes of Health > NIH Blueprint for Neuroscience Research 319283716716 3192837167188
Submitting Agent:	NewUser, NUSer [Save] NewUser, NUSer (proxy)
Authors & Institutions:	* primary affiliation Taylor and Francis - EES Team 4 Park Square Abingdon Oxon OX14 4RN United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland NewUser, NUSer (proxy) Corresponding Author https://orcid.org/0000-0002-9698-8003 * Taylor and Francis ✓ - EES Team 4 Park Square, Abingdon, Oxon OX14 4RN United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland
Contact Author (populates the ##PROLE_AUTHOR_## e-mail tags):	NewUser, NUSer [Save] Current Contact Author: NewUser, NUSer (proxy)
Running Head:	None running head
Keywords:	Keyword 1, Keyword 2, Keyword 3
Author Recommended Reviewers:	Shane Stafford Taylor and Francis Group, Taylor Department - shane.stafford@clarivate.com
Author Opposed Reviewers:	
Author's Cover Letter:	
Custom Questions:	Show
Manuscript Edits Locked for Resubmission	



投稿統合と、未投稿の論文をサポートする機能は、ScholarOne で構成を行う必要があります。

2. Submission Prefill: PDF ファイル種別のサポート

Submission Prefill に PDF ファイルのサポートが追加されました。これによって雑誌は Submission Prefill を介した PDF による投稿を受領でき、アップロードされたファイルから論文のタイトル、キーワード、著者、所属機関、助成機関が自動的に入力されます。

ユーザー

Author

管理者

必要なアクション

構成が必要です。

詳細と構成

Submission Prefill は構成の [拡張機能] セクションで構成できます。



データ抽出		
☒ データ抽出の有効化 以下の各投稿グループに事前に選択されたファイルの指定を設定します。ファイルの指定が選択されていない場合、投稿者は投稿プロセス中にファイルの指定を選択します。		
投稿グループ:ファイルの指定:	pdf	doc, docx
DEFAULT Main Document	☒	☒

利用可能なファイルの指定のドロップダウン リストから選択し、投稿グループのファイルの指定を設定します。

Main Document

適切なチェックボックスに印を付け、ファイルの種別を選択します。

Submission Prefill は pdf、doc、docx を個別または複数一緒にサポートします。

pdf	doc; docx
☒	☒

[Submission Prefill を有効化し保存する] チェックボックスに印を付けます。Submission Prefill に関する詳細については、v4.25 リリースノートをご覧ください。

3. Submission Prefill の Ringgold と所属機関のマッチング機能の更新

所属機関と Ringgold ID のマッチングを行う Submission Prefill アルゴリズムが更新されました。

ユーザー

Author

必要なアクション

この機能は Submission Prefill の一部です。Submission Prefill が有効であれば、それ意外に構成は必要ありません。

詳細と構成

このマッチングアルゴリズムの更新によって、Submission Prefill を介して取り込める所属機関の数が大幅に増え、自動的に Ringgold ID に対してマッチングが行われるため、著者は投稿プロセスに費やす時間を節約できます。

4. 異常アクティビティ検出ツールのクリーンスレート有効化のスク립トを削減

ScholarOne Manuscripts の別のスタッフによる異常アクティビティ検出ツールのクリーンスレート有効化を可能にする内部ツールを作成しました。

ユーザー

管理者

必要なアクション

構成が必要です。

詳細と構成

異常アクティビティ検出ツールは、これまでの全アラートを待ち行列に表示する構成か、または、処理済みの論文のアラートを待ち行列に表示しない「クリーンスレート」構成が可能です。多くのクライアントはクリーンスレート方式を好みますが、この方法は以前は開発チームのサポートが必要でした。ScholarOne のスタッフ向けに更新されたこのツールセットでは、出版社は異常アクティビティ検出ツールの有効化にかかる待機時間を減らせます。

業界をリードする弊社の異常アクティビティ検出ツールに関する詳細については、通常の ScholarOne Manuscripts の担当者にご連絡いただくか、製品サポート (s1help@clarivate.com) にお問い合わせください。

主な問題修正と機能の最適化

備考

ScholarOne では次のリリースまでの間に多数のパッチとホットフィックスを提供し、プラットフォームの継続的な改善に努めています。その多くは社内チームによるプロセスの最適化を目的としているため、ワークフローには影響しません。これらの変更点についてご質問がある場合は、サポートにお問い合わせください。

- **著者宛のリマインダー E-Mail の機能強化**
 - 構成で決定に許可された日数が一時的に変更されても、修正期限が延期されると著者宛のリマインダー E-Mail のスケジュールは変更されません。
- **ブラウザーのスペルチェック**
 - HTML メール作成ウィンドウ内でネイティブブラウザーのスペルチェッカーが動作しなかった問題を修正しました。
- **論文種別の変更**
 - 著者が論文ファイルをアップロードしてからファイルのアップロード手順を踏まず論文種別を変更した場合に、投稿ができなかった問題を解決しました。
- **直接転送**
 - 論文が直接転送によって取り込まれた際の表示の問題を修正しました。この問題では正確な名 + 姓 + E-Mail アドレスの完全一致がないことを示す通知テキストが、間違って著者（投稿者）に対して表示されていました。
- **プロキシを介した E フォームの投稿**
 - プロキシを介した E フォームの投稿時にページが更新されず、ユーザーにログインページが表示され続ける断続的な問題を特定し修正しました。
- **HTML E-Mail タグの追加**
 - E-Mail のタグが 1 つ壊れていると、他のタグがレンダリングされなくなる問題を解決しました。
- **iCal 依頼**
 - ical 依頼ファイルが余分な =0D 文字で雑誌の URL をレンダリングしていた問題を修正しました。
- **統合対象**
 - 統合対象が英語以外の言語で表示されなかった問題を解決しました。
- **以前の共著者**
 - 管理者が以前の共著者ツールを使用し、プロキシを介して投稿者に共著者を追加しようとする、その投稿者の以前の共著者リストにその共著者がすでにリストされていた問題を修正しました。
- **サイトの作成**
 - iThenticate Plagiarism 構成は、構成と有効化を容易にするために恒常的に必要なものですが、サイトの作成またはコピーを行うとこれがデフォルトにリセットされていました。
- **スタブの期限**
 - スタブの期限が変更され、査読者に与えられた延長日と一致させられていた断続的な問題を解決しました。
- **異常アクティビティ検出ツール**
 - 異常アクティビティ検出ツールが間違って「ジャーナルスタッフによって追加された著者」と「以下の著者は投稿者ではなくジャーナルスタッフによって追加されました」というメッセージを通知していた論文スタブの問題を解決しました。

詳細のお問い合わせ先

ScholarOne 製品サポート
s1help@clarivate.com

電話番号: 888 503 1050 (米国) または
0800 328 8044 (英国)
月曜日午前 12:00～金曜日午後 8:30 (東部標準時)

webofsciencegroup.com

Web of Science Group について

Clarivate 社、*Web of Science Group* が管理する世界の研究情報は、研究を加速するために多様な学界、企業、出版社、政府で利用されています。また、そのために出版社に中立な世界最大のサイテーションインデックスとリサーチインテリジェンスのプラットフォームである *Web of Science* が活用されています。そのほかにも、*Converis*、*EndNote*、*Kopernio*、*Publons*、*ScholarOne*、*Institute for Scientific Information (ISI)* などの有名ブランドを提供しています。*Web of Science Group* の「大学」である ISI はインデックス、関連情報、分析コンテンツ、サービスを構築する基盤となるナレッジコーパスを管理し、イベント、会議、出版物を通して外部にその知識を広め、調査を実施してナレッジベースの維持、拡張、改善に努めています。詳細については webofsciencegroup.com をご覧ください。

© 2019 Clarivate. All rights reserved. Clarivate の書面による事前の同意なしに、Clarivate のコンテンツを再発行や再配布すること（フレーミングまたは類似の方法による場合を含む）は禁止されています。*Web of Science Group* とそのロゴ、および本文書で使用されている他のすべての商標はそれぞれの所有者の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。